

# 安全を守る仕事

『ニッポンの人材と育成と就業の現場』

vol.11



いまだ戦火の絶えない気の毒な国々と比べると、日本が「安全」であることに異論のある人はいないだろう。

とはいえこの国でも1日に150件の火事が起こり、14人が道路交通事故で亡くなり、3件を超す殺人事件が起きている<sup>\*</sup>。

振り込め詐欺や薬物犯罪、食品事故、海難事故、自然災害など人々を不安に陥れる出来事が新聞の見出しを飾らない日はない。

安全を脅かすものがある一方、安全を守る人たちがいる。安全を守る人たちは社会を下支えする役割なので、ふだんはあまり表に出ない。そうした仕事を支える理論や研究もまた脚光を浴びる機会は少ない。しかし今号は、これからの社会を支える高校生の進路選択の良き資料となるよう、そうした職業や研究分野に注目した。

1章は現在の日本が安全か否かを様々なデータを用いて分析していく。昨今、日本の治安について「悪化」や「凶悪化」を指摘する声があるが、その真偽も実際のデータから確かめていただきたい。

2章は安全を守る様々な職業の実態を、現場の最前線で活躍する人々のインタビューを通して明らかにしていく。人々を守る仕事の責任の重さや醍醐味が10人の話から伝わってくるはずだ。

3章は安全に関連する大学の研究分野を22テーマ紹介する。文理にまたがる最前線の研究分野を知り、大学・学部選びに役立てていただきたい。

安全や平和を願わぬ人はいない。それが職業になるという事実や、それを職業にすることの意味をこの特集で理解していただけたら幸いである。

\*データは以下を参照。火事:消防白書、道路交通事故:殺人事件:警察白書

## 1章 日本の安全は、どうなっているか

## 2章 安全を守る仕事10

警察官(鑑識) / 麻薬取締官 / 海上保安官(潜水士) / 消防士(救急救命士) / セキュリティスタッフ / 児童福祉司  
工場安全管理 / 農林水産省行政官 / 自動車開発(運転支援安全システム) / インターネットセキュリティ

## 3章 安全を学ぶ大学研究テーマ22

犯罪心理学 / 犯罪社会学 / 生理心理学 / 刑事政策 / 交通心理学 / 災害社会学 / 災害心理学  
気候システム科学 / 地震予知 / 薬物安全性学 / 医療安全・管理学 / 食品安全学 / 食品流通学 / 水質安全  
環境安全管理学 / 原子力安全工学 / 安全工学 / 社会基盤安全工学 / 耐震工学 / 安全性シミュレーション  
情報セキュリティ / 情報ネットワーク法